



ワーカーズ紹介

前向きな仲間とともに何でも乗り越えるパワーあり！



「ワーカーズ・コレクティブ樹(もり)」

生活クラブ生協埼玉の「くらぶメゾン」構想から生まれた「ワーカーズ・コレクティブ樹(もり)」。いくつものハドルを乗り越えようやくオープンにこぎつけたメンバーの、決意と希望の日々がいよいよ始まりました。

東武東上線柳瀬川駅は、JR 武蔵野線との連絡駅朝霞台駅から川越寄りに2駅ののどかな駅です。その駅前に建つ商業ビル1階の1画に「結(ゆい)」の荷受場所、2階の1画に志木支部の部屋と「ワーカーズ・コレクティブ樹(もり)」のレストラン「リトルキッチン樹」がありました。



10月末、「くらぶメゾン志木」が完全オープンし「リトルキッチン樹」の営業も始まりました。

生活クラブ生協志木支部の委員だった星野代表他のメンバーは、2年前に「くらぶメゾン構想」とともに自分たちの拠点つくりに踏み出しました。その中で自分がワーカーズをつくると決断したのです。メンバーの生活クラブ生協への思いは大きく、生協の共同購入の形態のひとつである結の荷受をして組合員とつながり、生協の食材を使った料理を提供してその美味しさをアピールしたいという気持ちが、「樹」の形を決めました。

現在「結」の組合員は131人。2曜日の受け取り。レストランは平日の9:30~19:00日替わりランチと手作りケーキを出します。店のスペースが小さいためランチの売り上

げは大きく期待できないので、惣菜、パン、ケーキ・菓子の販売にも力を入れます。オープニングの日のメンバーははつらつと楽しそうでした。



しかしここに来るまでは山あり谷ありの日々でした。くらぶメゾンを志木支部内に持つことは2回目の支部大会でやっと承認され、メゾンに同居する他団体に自分たちがワーカーズとして参加すると決断してから、まさに問題が起らないことはないような日々でした。厨房設置は自己資金でまかなわなければならないと知り、出資金を増やし、1口1万円の賛助会員を募り短期間で目標金額を集めました。たくさんの方からアドバイスや励ましをもらい力にしました。



しかし星野さんたちを一番支えたのはやはりお互いの存在でした。何回もここまでかと思ったときに仲間からの前向きな提案がみんなを1歩ずつ前に進めてきました。

今「樹」を支えるメンバーは支部を越えて15人。これからは目標は継続です。事業を軌道に乗せ、たくさんの仲間を巻き込みたいと思っています。